



静岡県立沼津商業高等学校同窓会
 〒411-0917
 静岡県駿東郡清水町徳倉1205
 TEL 055-932-5747 (FAX共用)

学年幹事へのお願い



会長 水上博道 (高六回)

会員の皆様にはご健勝でご活躍のことと存じます。日頃は同窓会活動にご理解とご協力を頂き有り難うございます。

同窓会は、会員相互の親睦を深めると共に母校発展に寄与することを目的にしております。

卒業時、各クラスより互選で選ばれた幹事と、同じく互選された常任幹事により全体の幹事会が構成されております。

常任幹事は、春・秋の常任幹事会に参画し、会の状況報告と幹事に伝える必要のある事項を幹事に伝え、同期会を開催して協力して頂くことになっております。

同窓会総会は、第一回を昭和二十九年一月に開催し、来年一月の総会で五十五回目を迎えます。

来年の総会当番学年は、十八回・三十二回・四十二回卒業の三学年協力で準備をして頂きます。当番学年幹事の代表は、定例役員会に出席し、本部と連絡を取り合っております。

当番幹事より毎年聞くことは、下の学年幹事に連絡しても、幹事になっていくことすら知らない人や、沼津を離れて協力出来ない人がいることで、私からのお願いは「必ず代わりの人を選び本人の了承を得て同窓会事務局へ連絡していただきたい」ことです。伝統ある同窓会を末永く継続することは私たちの使命です。来年の総会に多くの参加を希望します。

赴任のびあつわし



学校長 甲野藤 茂

同窓会の皆様、日頃から本校の教育活動に対して、物心ともに多

大なるご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、四月に本校に赴任してから、外部団体が主催する様々な会合に出席する機会がありました。沼津の卒業生が実に多いことに驚かされました。

「専門高校の卒業生は、地域を支える存在」であることを実感致しました。

同窓生が、母校や在校生のことに愛着を持ち、心配して下さっていることに対して、職員一同日頃から感謝しており、授業・部活動さらには補習にと、生徒の能力を伸ばさせるために努力しているところではあります。

二十年後・三十年後も卒業生が地域を支える存在であってほしいと考えております。

さて先日、本年度の「沼商同窓会育英基金」の授与式が行われ、二十名の生徒に水上会長から決定書を渡していただきました。この制度は、保護者からの評判も高く、感謝されております。

人物・学業面はもちろんのこと部活動でも大変努力している生徒たちです。将来社会のために尽くす人間になってくれると確信しております。

最後になりますが、この紙面では表現し尽くすことができないくらいのご協力やご支援に対し、重ねて感謝申し上げます。同窓会の益々のご発展を祈念申し上げます。

第五十五回同窓会総会のご案内

我が青春のいぶきよもう一度

左記の日程により総会を開催致します。ゴーゴー同窓会、皆様お誘い合わせの上多くの同窓生がご参加下さるようご案内致します。

日時 平成二十年 一月二十日(日)

場所 ホテル沼津キャッスル

受付 十二時三十分より

総会 十三時三十分～十五時

講演 渡辺 泰男(高五回)

演題 「人生塞翁が馬」

懇親会 十五時～十七時三十分

会費 六千五百円

(但し、事前振り込みの場合 当日払い 七千円)

申込方法、新聞広告掲載希望者など詳しいことは折込の「第五十五回同窓会案内」をご覧ください。

同窓会年会費にご協力とご理解を

同窓会は、わが沼商の歴史であり伝統です。毎年発行の会報でもご案内の通り、積極的に活動しております。

現状では残念ながら、約一割未満の会員の協力が頂けません。今後、より一層の運営を図るには、年会費の納入にご協力とご理解以外方法がございません。

多くの会員の年会費納入をお願い致します。

全国高校総体 弓道女子団体 初優勝

激戦を勝ち抜いた沼商魂 一県勢の金メダル獲得は20年ぶり



決勝戦に臨んだチーム

左より石塚主将、鴻野、山田、伊藤、大住の各選手

全国高校総体弓道女子団体戦が八月七日、佐賀県立唐津高等学校体育館で行われ、我が沼商弓道部が見事優勝を果たした。大会は、参加チームが多いことから、まず予選リーグからスタートし、勝ち残った三十二チームにより決勝リーグが戦われた。試合は、一チーム五名、一人四本の競射の

計二十競射の的中数によって勝敗を決するものである。沼商優勝の軌跡は下記スコアを見て分かる通り、第一戦から辛勝であった。一・二回戦を見て、安中監督は選手を集めて「あんたたち、気持ちでは完全に負けているよ」と檄を飛ばした。この激励にチームは一変し、以後の試合を有利に進めていった。中でも大住選手は二回戦以後十六競射中十四本を的中させる大活躍であった。石塚主将は、「監督の一言で全員の心が一つになった。雑念を払い集中できた」と述べたが、この心こそ「沼商魂」といえる。八月八日、午後五時三十分三島駅に到着した一行は、甲野藤校長、土屋前校長、神山教頭、水上会長他多くの関係者に迎えられ三島駅前での歓迎式に望んだ。各選手の表情は激戦を勝ち抜いてきた自信と達成感が満ち溢れていて誰にも勝る美しさがあった。

準決勝 沼 商15―11上野高(三重)
沼 商10―8伊勢崎清明(群馬)
沼 商10―9春日部東(埼玉)
沼 商12―12徳島市立(徳島)
沼 商10―9春日部東(埼玉)
沼 商10―8伊勢崎清明(群馬)
沼 商10―9春日部東(埼玉)
沼 商12―12徳島市立(徳島)

◆全国総体出場監督・選手

- 監督 安中 理恵子(教諭)
- 主将 石塚 可奈子(3年)
- 選手 伊藤 梨沙(3年)
- 大住 陽香(3年)
- 青木 千恵(3年)
- 鴻野 悠(2年)
- 山田 紗佑里(2年)
- 鈴木 あすか(2年)



三島駅前での優勝祝賀式のチーム優勝旗と優勝カップが眩しい

◆沼商優勝までの軌跡

(決勝リーグ結果・競射)

- 一回戦 沼 商12―12徳島市立(徳島)
- 二回戦 沼 商10―9春日部東(埼玉)
- 準々決勝 沼 商10―8伊勢崎清明(群馬)
- 準決勝 沼 商15―11上野高(三重)

決勝

沼 商14―13川崎高(神奈川)
(石塚②鴻野④山田③伊藤②大住③)

優勝祝賀式のインタビュー

◆甲野藤校長祝辞

優勝おめでとうございます。大変な激戦を戦ったの優勝に対し、驚きと同時に感激しています。これは日頃の練習を通して全員が心一つにした結果だと思えます。新しい沼商の歴史を作ってくれた皆さんに、心からお礼を申し上げます。

◆安中監督(教諭) 謝辞

正直優勝できるとは思いませんでした。決勝リーグに残れたことさえ幸運だと思っています。内の選手がこれだけ粘ったことと心を一つにできたことに驚いています。私はよい選手に恵まれ感謝しています。本日は多くの人に来ていただき、有り難うございました。

◆石塚主将謝辞

優勝の実感はまだ湧きません。勝てたことは、チーム全員の心が一つになったことだと思います。今回の経験を生かして更に努力し、国体でも頑張ります。

◆水上会長祝辞(後日談)

全国高校総体弓道女子団体優勝おめでとうございます。日頃の訓練とチームワークの賜物だと思います。これからも精進して下さい。

全国高校情報科学競技大会【SA部門】

電算機部全国優勝
コンピュータ知識磨き快挙

電算機部は、三月三十一日東京で開催された「第二回全国高等学校情報科学競技大会」のSA(システムアドミニストレータ)部門でみごと優勝を果たした。

大会には全国の商業高校を中心に二十五校、二百二十九人が参加した。SA部門の団体戦では、コンピュータのハード・ソフトを使いこなすための基礎知識を競いメンバー五人のうち上位三人の合計得点で優勝を争った。

出場メンバーは、竹下夢子さん、岩崎妃佐子さん、岩崎佑香さん、内山翔平君、廣木大地君で、個人成績で廣木君が優勝、岩崎妃佐子さんが三位に入った。



全国高等学校情報科学競技大会で優勝した電算機部のメンバー

これは、学校始まって以来の快挙である。大変な努力をした生徒と指導した先生方に大きな拍手を贈りたい。

電算機部顧問 杉山聡教諭談

日ごろ、目標に向かって部員同士が競ってやってきた成果です。これからさらに頑張らせます。

情報処理競技個人優勝

情報技術国家試験大卒合格

六月二日行われた「全国高等学校情報処理競技大会」で、電算機部の大川修司君が個人優勝した。

大川君は、県内四人のソフトウェア開発技術者となり、沼商の名を高めさせた栄誉である。

また、電算機部員十六名は全国での合格率十四〜十五%といわれる「基本情報技術者試験」と「初級システムアドミニストレータ」に合格し、新聞紙上を賑わした。



優勝した大川君(右) 千点満点を出した藤岡さん(左)

六月十四日に行われた「マイクロソフト社認定試験」では、二年部員全員二十八人が合格した。この試験で二年生の藤岡夏美さんはスペシャリスト部門で、千点満点をマークし、沼商電算機部のレベルの高さを知らしめた。

ワープロ県大会杉崎君優勝



六月二日第五十四回全国高等学校ワープロ競技大会静岡県予選大会が開催され、ワープロ部の杉崎鉄馬(ケンタ)君が優勝した。杉崎君は昨年到现在県下では第一人者である。彼は十分間で二千百文字を打って、全国大会でも上位入賞が期待されている。

コンピュータ豆辞典

- システム：全体の構成を総称
- ハードウェア：本体の機械部分の総称
- ソフトウェア：目的に応じて動かす技術の総称
- SA(システムアドミニストレータ)
直訳：システムを運営する人
コンピュータを利用者の立場から推進するために、パソコンやネットワーク他の知識・技術を認定する資格

弓道部 県大会 優勝
東海大会 二位

弓道部は、六月二日県高校総体でみごと優勝、同十六〜十七日に行われた東海四県高校総体でも二位に入り、その実力を証明した。

弓道部員は、全員が沼商に入学してから始めたもので、日頃の練習の成果を大会の場で発揮できた強い精神力は、他の生徒に良い見本となった。沼商弓道部の優勝は五年ぶり七回目で、他校からは羨望の目でみられている。八月の全国総体では見事優勝を果たした。



優勝旗及びカップを手にする選手と安中監督(教諭)

我が人生と 同窓生との出会い

早川 弘 (90才) (旧三十三回)

be the matter what it may always spike the truth,

「何(なん)にも誠実を尽くせ」

在学中、小谷大治校長が教訓として我々に諭された言葉でした。

卒業して七十三年、卒寿を迎えた今日でも忘れられない言葉です。

安倍川の賢士や富士を仰いで白扇逆しまにかかる東海の天と詠じたことなども忘れられません。

昭和四年、沼津第三小学校から十人が入学し、五年制の男子校で先輩に対しては学手の敬礼で挨拶をしました。

地域ごとの自治活動も盛んで、余暇を利用してのソロバンやスポーツ等を上級生指導で行い、第三小の会は特にソロバンは熱心で伝統的に学校の会計部の委員を受け継いできました。

先輩に、参議員を務めた渡辺武さんもいました。寒い冬の寒稽古千本浜の水泳教室、桃郷の浜での遠泳などが学校での思い出です。

小池選手がオリリンピックに出場した時は、プールもなくどこで練習していたのかと驚きました。

卒業当時は、地元での就職先は少なく多くの人は、京浜地方に出で行き、丹那トンネルも無い時代

で、御殿場廻りで上京しました。東京での同窓会も同期の中島君等の奮闘で盛大に行われました。私も二人で時計会社に就職し、後輩も次々に入社して十人程になり社内沼商会を作りましたが、戦争のために一人二人と招集され、戦死された方も出て終戦を迎えませんでした。会社はその後伸銅業となり業界の会合に出席の折、大先輩の古河電工の植松社長にお会いする機会もありました。

支那事変が勃発した時は、多くの同窓生が入隊し、私も静岡連隊に入隊することになり、沼津駅前での壮行会では、先輩の清水孝太郎さんと一緒にしました。

入隊後内蒙古派遣となりましたが、幹部候補生として豊橋教導学校に入学し、ここで同期の森・芹沢の両君とばったり会い、また三十四回の加藤・杉山・市川・美尾の諸君とも会い、共に教育を受けることになりました。他校に比べ同窓生の数は一番多く誠に心強く感じました。特に三十四回の人達は元氣よく目立った存在でした。これらの人達も今は故人となつてしまいました。

前回の会費納入者名簿の中にあつた鈴木・塩見・柏崎の三君は残念ながら他界しました。

鈴木君は、早くから八王子市で織物の仲買商として、頭角を表し、市の名士でした。塩見君は、横浜地区で税務事務所を開き活躍して

いました。柏崎君は、日立で業績を挙げ子会社の社長として奮闘してきました。

上京の我々同窓生は、交流を深め、各々の職域を全うする中で、沼商を誇りに頑張ってきました。他界した同期の冥福を心から祈ります。



70才から始めた水泳。
90才とは思えない若々しさを保持

同窓会会員名簿(委)報告

平成二十年二月完成を目標に準備を行っている。

現在登録されている人数は一七四三九名で、本年四月ハガキを出し確認したところ、四五〇名が住所不明で戻ってきた。

回答をくれた四八八六名の内一九名は名簿から氏名を削除、一二二〇三名は、氏名のみで住所は未掲載を希望。会ではこの人々には今後通信しないことにしたが、どのような事情にせよ残念である。名簿は確認できる人、来春卒業者計一五、二四八名の名簿にする。

活躍する同窓生

コンピュータグラフィックで 幾多の受賞

渡辺美津代さん



沼商で、女子生徒が過半数を越えて三十年以上が経過した。

この多くの人たちは、さまざまな分野で活躍されている。今回はコンピュータグラフィックで数多くの賞を受賞し、さらに良い作品制作に励む三十五回卒の渡辺美津代(旧姓真野)さんを紹介する。写真は、本年静岡県版画協会受賞作品「繋いだ先にあるもの」である。「この作品は、『生きる』がテーマ。カプセルの中に雄しべと雌しべを配列し、命のリレーをイメージしました。生命の誕生と深い係わりをもつ月が静かに見守っています」と渡辺さんの説明です。



沼商時代美術部に所属していたとはいえ、パソコンを手にしたのは七年前、独学で学び「将来は若い世代のクリエイター達と一緒に活動したい」と張り切っている。

甲子園で沼商校歌を謳う夢
同窓生の支援・協力をお願い



野球部OB会会長
市川 厚
(高四回)

異体同心なれば萬事を成ずると言う教えがあります。

夢の実現には、地域社会・卒業生・監督・選手・関係者の心を一つにすること考えます。

大正十三年野球部創設、昭和十八年大戦、外来スポーツ廃止三年間廃部。昭和二十一年復活、八十年経過の長い伝統と文化を持つ野球部です。

昭和二十一年より、平成十九年の公式戦三八勝六十敗。ここ数年の公式練習戦績は、一八一勝一六三敗と少し強さが増しました。

しかし、逆転され易い、プレッシャーに弱い。これは支援する組織が弱いと考えます。OB会・後援会を含めた強力な組織の確立が求められます。

強いチーム作りには、コーチの増員・ピッチングマシン・使用球バット数の増量など、四五名前後の部員に、効率的に練習させる環境が必要です。

第一に野球部OB会の充実、第二は野球部以外の卒業生の皆さんに、後援会に加入を頂き物心共に

支援をして夢の実現をと考えています。伝統と文化を守り育てるには、先輩諸兄のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

同窓会育英基金授与式

同窓会育英基金

母校の発展と有為な人材を育成することを目的に、多くの会員の寄付金により運営されている。

十九年度は、六月二十六日授与式を行い、二十名の生徒に授業料相当額を支給した。

全日制十四名・定時制六名



奨学金授与式の出席者

阿部英雄奨学金

(沼津商業振興育英基金)

阿部先輩(旧三十九回)の寄付により運営されている奨学金。

地域商業の振興に貢献する有為な人材の育成を目的とする。

平成十二年度より運用され、現在までに大学進学者三十三名に貸与。奨学生から感謝されている。

奨学金を頂いて

渡邊里美(高五十三回)

沼商を卒業して七年が経ちます。現在沼津市内で、パソコンを使用する事務員として働いております。

大学へ進学した際、同窓会から貸与していただいた奨学金でパソコンを購入しました。パソコンは大学の講義はもちろんのこと、課題作成、レポートなど多くのことに活用をしました。

就職活動においても、必須アイテムとして欠かすことが出来ませんでした。本当に有り難うございました。奨学金を頂いたことは責任を持つ毎日ともなりました。

また、沼商で始めたバドミントンを大学でも続けました。多くの試合に参加、合宿も行い、その中で友人と良い思い出が作れたと思います。

沼商在学時から現在、さらにこれから先も、先輩方や友人に囲まれた中で、たくさんの方の学び日々成長することを心掛けていこうと思っております。

阿部英雄氏 逝去

阿部英雄氏(旧三十九回)は七月十日逝去されました。

阿部氏は多額の奨学金を寄付の他、多くの図書もご贈呈して頂き沼商のために大変貢献されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

第六回奉仕活動に参加

暫く途絶えていた奉仕活動を再開した。同窓会としては六回目となり、四月二十九日富士山麓の植樹に参加した。

主催は、「柿田川東富士の地下水を守る連絡会」で、十一回目となり今年は一〇名の参加があった。富士の裾野に生まれる湧き水の水源・涵養の林に植樹をすることを目的としており、当日は、好天に恵まれ心地よい汗を流した。

同窓会としては、今回は参加要請を沼津市・清水町の高七回から二十三回卒の幹事に限定した。

その結果、学校の協力もあり、四十人が参加してくれた。次回からは、募集方法を検討して多くの人たちに協力をお願いしていく。



富士山麓の植樹に参加した人たち

支部だより

◆熱海支部◆
富士山への思い
 梅沢 恵里
 (高四十九回)

「富士山に登ってみたい」テレビからそんな会話が聞こえてきて私は、狩野川の土手を自転車で通学していた頃を思い出しました。

目の前に大きな富士山が見えて感動し、元気をもらっていました。

しかし、毎日見ていると当たり前になっていきました。卒業して見ることができなくなると、富士山の雄大さ、有り難さに気が付きま

した。何ごとも、当たり前だと思

っている、後で後悔する時が必ず来ます。後悔することのないよ

うに自分に正直に、そして感謝の気持ち忘れずに毎日を精一杯過

ごしたいと思っています。

幼い頃、五合目までしか行っていないので、今年の夏はぜひ富士登山にチャレンジしてみたいと思

っています。

◆御殿場支部◆
支部総会を盛大に
 長島 晃一
 (高十五回)

ここ数年は、定期的に支部同窓会を開催しています。そのためか

他の町から転居された方から「私も沼商の卒業です。ぜひ次回には声を掛けてほしい」という声を聞きました。

支部の同窓会名簿を元に、同窓会の案内を初夏の頃には発送して

いますが、多分他の地域より移転された同窓生もかなり在住してい

ると思われまます。これも、定期的に会を開催しているお陰だと思っ

ています。

一昨年は、私共十五回卒が全体総会の幹事を担当したことで、御

殿場・小山地区新聞にPR広告取りを担当しましたが、多くの同窓

生から気持ちよく協力していただき、沼商同窓生の心意気と力強さを感じました。

本年も支部同窓会が盛大に開催されるのを楽しみにしています。

◆裾野支部◆
授章の二人を披露
 支部長 中川 精二
 (高四回)

七月八日、裾野支部の五回目の総会を開催しました。当日は、水

上会長、学校から神山教頭がご出席下さり、裾野支部会員と親睦を

深めました。この席上で、二人の授章の披露がありました。

高五回卒の伊東明俊さんは、市議会議員四期、市議会議長も務め

られ、合せて産業経済の振興と社会福祉の向上などの功績が認められ「旭日双光章」を、授章されま

した。

高十五回卒の杉本和男さんは、消防団員を二十八年務められ、地域住民・市民の安全に貢献された

ことで「藍綬褒章」を授章された。

支部活動では、会報「すそのだより」を発行し、沼商在校生の全国大会での活躍を紹介しました。

今年度の活動計画は、勉強会や後援会、ゴルフ大会、ボーリング大会、奉仕活動を行い会員相互の

親睦を深めて行きたいと思ひます。

◆富士支部(沼商ふじの会)◆
平成十九年度の活動内容
 事務局長 木村 敏志
 (高十二回)

平成十九年度の沼商ふじの会は昨年同様四つの行事を掲げました。

第一は、ゴルフ大会で四月十三日に第五回目をを行い、二十名が楽しくプレーしました。

第二は、社会奉仕活動で、四月二十九日「富士山麓ブナ林創造事業」への参加です。この事業には

会として、苗木代五万円を寄付しました。参加者は二十名でした。

第三は、定期総会で六月十日に開催し、水上会長・杉本副会長・

学校からは、甲野藤校長・神山教頭先生が出席下さいました。

当日の講演は、両足義足のマラソンランナー「鳥袋 勉」氏を招

き「夢をあきらめない」と題し一般の人六十名も参加して盛大な講演会となりました。なお、鳥袋氏

には他にも講演を計画しています。

第四は、十月十一日開催する文化事業で「第四回沼商寄席立川文志とその仲間たち」の公演です。

なお、昨年の収益金を使い、小中高等学校の親子三十組を対象に鳥袋氏と一緒に富士登山を計画しています。

沼商ふじの会は、会員及び地域のために少しでも貢献できる事業を考えて活動しています。

◆定時制部会◆
今年も頑張ります
 部会長 室井 清
 (高八回)

沼商同窓会の皆様方にはご健勝のことと存じます。

部会長を引き受けて一年が経過しましたが、平成二十年度には歴史と伝統ある沼商定時制も東部に統合することが決定しています。

定時制の諸君はこの変化の中で夢をもって頑張ってください。

仕事は、生きる糧を得ると同時に社会に貢献できるもので、仕事を通して修行もできます。明るく素直に積極的になれる人は幸せになれ、徳の心が記録されます。

給料分働くという人は、徳を掴むチャンス逃していません。仕事に心配りをし、感謝をもらえる人を目指して下さい。

人生で最も辛いことは、するべき仕事の無いことで、真剣に仕事に打ち込んで人生を送って下さい。